

# 令和8年度 葉山町議会 6月定例会 一般質問プレゼンテーション資料

2026.6/16 (TUE)

未来をつくる学びが、  
葉山の未来をつくる。

## 1. 学校教育現場の環境整備について

- A) 学校再整備について
- B) 給食費無償化における対応補助制度の導入について
- C) フリースクール補助事業の申請状況について

## 2. 住み続けたい町にするための施策について

- A) 子どもまん中の町にするための施策について
  - ①子どもの権利条例について
  - ②子育て支援拠点や児童館の今後について
- B) 行政情報のアウトプット強化について
- C) 地域防災力の強化について

Presenter : Jissei Ishioka

## 1 学校再整備 (近未来の葉山の学校)



環境にやさしい 開かれた学び 多様な学びの場 地域とつながる

## 2 子どもまん中の町づくり



子育て支援の充実 安心して育つ環境 みんなで見守る 未来を担う子どもたち

## 3 行政情報のアウトプット強化



わかりやすく すばやく 多様な媒体で 積極的に発信

AI Photo

# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

### これまでのリマインド

R7年9/25：教育民生常任委員会にて  
教育委員会より「学校再整備に関して」  
1年先送りするとの方向性が示される。



令和7年6月20日 山梨町長より提出された声明  
「葉山町公共施設等将来構想」「財政シミュレーション」「中期財政見  
通し」にあたって。

公共施設整備は、将来の姿を描き、将来のまちづくりへ影響する大変重要な決定であり、それにとともなう財政支出は多額な経費を必要とし、将来世代へ大きな負担を残すこととなります。そのため、本構想を基本として、今後も常に町民の皆様や議会、関係者の皆様と広く知恵やアイデアをいただきながら、適時適切に公共施設再整備の事業計画を確定させていきたいと考えております。それにとともない、財政につきましては、随時更新を図る「見通し」として現段階の予測を公表いたします。

独自調査では…  
一般会計予算が130億円規模での学校施設建設にかけられる目安は？  
総事業費40～60億円程度までが財政的に耐え得る金額？！。



※R7年(2025年)第3回定例会 一般質問で使用したプレゼン資料

### 委員会内での質疑・応答

Q.1年先送りした事で教委としてはメリットがあるのか？

A.事業を改めて検証し、町全体の財政の計画を見直す機会にする。

Q.これまで積み重ねてきた計画が遅れる事は不本意では？

A.確かに出来る限り努力をして来た中では、予定通り進めたい想いもある。しかし社会情勢が激変している中では止むを得ない。

A.この1年で葉山中学校区から整備する事の周知と、より多くの町民の理解を得ながら、空間の運用に関して検討を深めていきたい。

Q.約3千万円かけて行った「基本計画」「基本構想」を  
まとめた作業は無駄にはならないのか？

A.基本的に必要な作業であり、無駄にもなっていない。それなりのニーズ等も把握出来た。



Q. 計画を先延ばしした真意は？

〔山梨町長〕

今回出された構想案は、あくまで教育委員会が主体となってまとめられたもの。私を含め、議会や一般の町民の方々も含めた総意というものではない。

予測困難な時代背景からすれば、様々な状況や環境に順応できるような計画にしなければいけないと考えている。

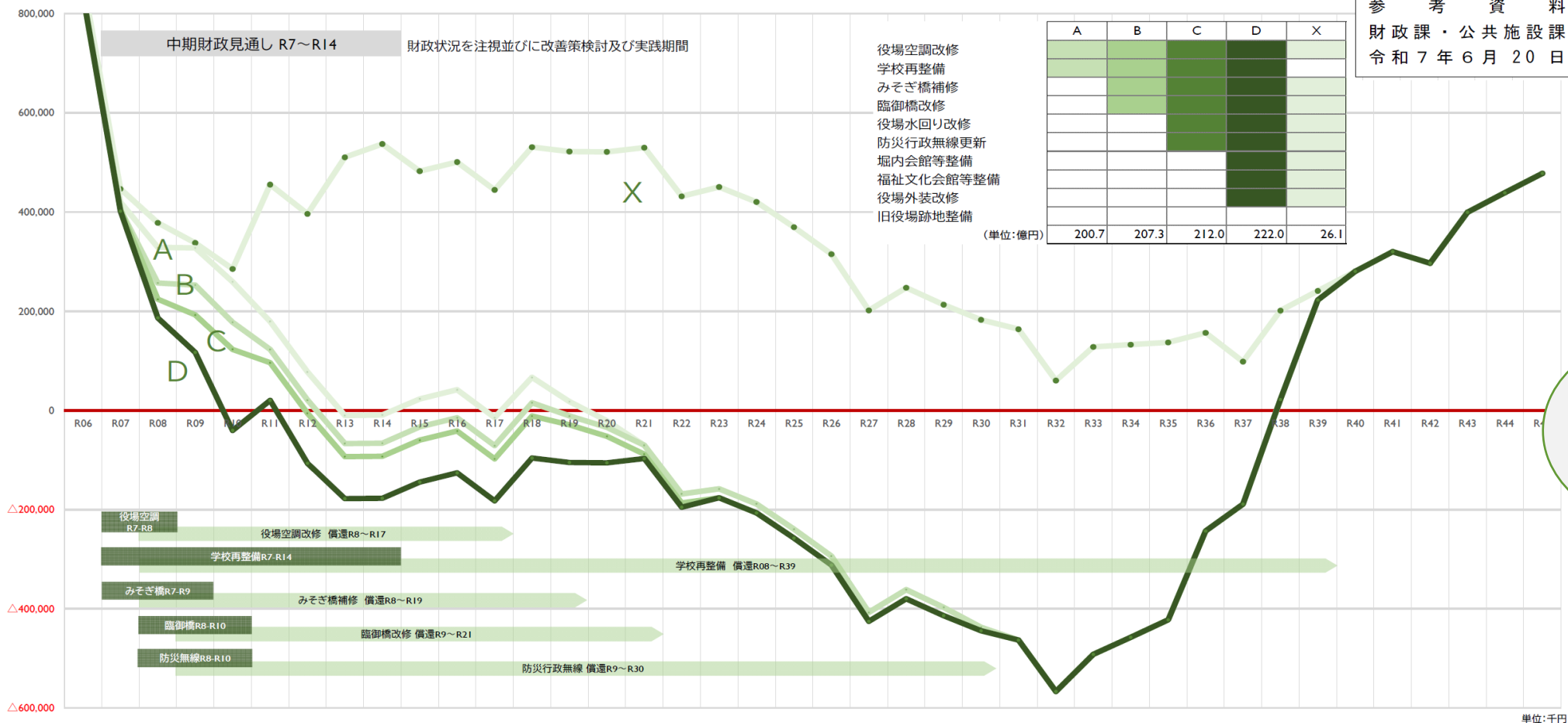
莫大なお金をかける事に対して、将来への投資であるという事の説明責任、財政負担の理解を促す作業として、また、様々なアイデアや意見を頂戴する時間をいただきたいと思いますところだ。

# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

「葉山町公共施設等将来構想」「財政シミュレーション」  
「中期財政見通し」が提示される!! 6月20日 議員懇談会

### 財政シミュレーション



議員懇談会  
参考資料  
財政課・公共施設課  
令和7年6月20日

このグラフは  
公共施設再編に向けて  
最低限の優先順位を  
確立するための  
指針になるものだと  
思っています。



# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

これまでのリマインド

R7年(2025年)第4回定例会

令和7年度 葉山町議会12月定例会  
一般質問プレゼンテーション資料  
2025.12/12 (FRI)

1. 学校施設再整備に向けた取り組みについて  
A) 基本的な考え方について  
B) 計画の先送りに対する具体的な対応策について
2. 住み続けたい町にするための施策について  
A) 電動自転車等利用の整備について  
B) 自治会へのサポート体制について
3. 庁舎内の環境整備について  
A) 職員(議員)間のみで活用できる職員名簿システムの導入について  
B) 機密改革の進捗について

Presenter : Jissei Ishioka



まずは…教育委員会と町部局(町長)が、**それぞれの立場でしっかりと検証・協議**しつつ、なるべく早いタイミングで意見を突合させて、同じテーブル上で、**足並みを揃えて進めていってほしい!!**



可及的速やかに…、しかしながら、**下手な時限に拘らず、慎重に取り組んで、意義のある時間**にしてほしい!!

### この時の町長・教育部長それぞれの答弁

【町長】中期財政の見通しの中で、赤字ありきのものに堂々とゴーサインを出すことは出来ない。財政課を中心に財源の確保が今後の最大のミッション。引き続き様々な知恵や工夫に時間をかける事は決して悪い事ではないと考えている。

#### 【教育委員会】

学校整備の基本構想、基本計画の路線に関しては6月に公表した資料のとおり維持したい。一方で、町民の方々との合意形成に関して納得度を上げること、追求していくところが今後の基本的なスタンスになろうかと思う。

#### 【教育委員会】

**国庫補助として見込めるであろう金額が約30億。交付税措置されるであろう金額が9億円。二つを合わせて全体の約2割程度が国費で賄えるという見込み。**



※イメージ図

こうした平場での色んな世代間でのブレスト等があっても良いのでは？

誤解が生じない説明会や、なるべく多くの町民との意見交換、有識者からのアドバイス収集など期待します!!



# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

### 現状の進捗度の確認

#### Q1. 教育委員会、行政サイドそれぞれの進捗状況は？

- ⇒
- ・教育委員会としての、これまでの取り組み
  - ・町部局のこれまでの取り組み
  - ・それぞれの今後の予定

#### 「（仮称）共創WEEK」の概要

- 学校再整備は単なる建替ではなく、**新しい公共空間を創造する取組**であることを多くの町民と共有するイベント
- 新しい公共空間をともに創造し、運営する仲間（**共創パートナー**）とつながるイベント
- イノベーションコモンズ（共創空間）の整備を見据え、既存の教室等で、**1週間程度、集中的に開催（11月頃）**するイベント

葉山町教育委員会  
Board of education 2

※R8年(2026年) 6/5開催 教育民生常任委員会で提出された資料

#### 有識者等と、町長・教育長の対談

令和8年度葉山町・教育委員会の取組

「これまで教育委員会や学校関係者、保護者、専門家の意見を伺いながらとりまとめてきた基本計画を踏まえ、**財源の確保や地域社会への波及効果など、多面的な視点から議論をさらに深める**年とし、広くご意見をいただいたうえで、実施設計へと移行してまいりたいと考えております。」

令和8年度（2026年度）町長施政方針より

|        | 対談候補者等                                                                                                 | 対談テーマ（イメージ）                                                                                                      |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 町長・教育長 | <ul style="list-style-type: none"><li>● コミュニティ組織</li><li>● 大学関係者</li><li>● 企業家</li><li>● その他</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● まちづくりの観点から</li><li>● 環境の観点から</li><li>● 社会情勢の観点から</li><li>● その他</li></ul> |

葉山町教育委員会  
Board of education 4

イノベーションコモンズの積み上げや「共創WEEK」に関しては、是非とも民間団体との相談や協議をして頂きたい!!

財政的な面を含めた、施設建設へ向けた具体的な協議はあるのか？  
既に3か月が経過し、次期予算編成までに間に合うのか？



※R8年(2026年) 4月に発足された未来の学校を考える会「ネスラボ」



# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

不登校児童数の増加が  
気になる場所…



### 葉山町 不登校児童生徒数の推移（過去10年間） 小学生・中学生別

この10年間で 不登校児童生徒数は **約6倍** に増加（19人→115人）

#### ■ 不登校児童生徒数の推移（小・中別）



#### ポイント



- ✓ この10年間で、不登校児童生徒数は **19人から115人へ約6倍** に増加
- ✓ **中学生は高止まり**の状態が続きながら、小学生の増加が顕著
- ✓ すべての子どもが安心して学べる環境づくりが、喫緊の課題

出典：葉山町教育委員会 総合教育会議資料（令和7年7月28日）  
葉山町教育委員会 事務の点検・評価結果報告書（令和5年度）  
陳情第7-30号 参考資料（令和7年9月25日）

※各年度5月1日時点（令和6年度は年度末時点）

#### Q1. 小学生の不登校者が増えている 傾向は分析できているか？

- ⇒ リソースリームなどの関係性は？
- ⇒ 不登校の度合いは？

#### Q2. 学校にも、フリースクールにも つながっていない児童生徒数の 把握は？

- ⇒ 葉山町教育ビジョンによると、小学生21人、中学生22人、計43人が存在するとされています（令和5年度末時点）

「2032年までに学びの場につながっていない児童生徒をゼロにする」  
ことを目標に掲げています。

#### Q3. この目標についての見解は？

- ⇒ 将来的に叶うものなのか？
- ⇒ それに向けた動きは出来ているか？

# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

再整備向けのグラウンドと体育館の面積について

Q1. 現在計画しているグラウンドと体育館の面積は？

⇒ ・理想的な基準からは少し不足しているようにも伺えますが？



# 学校教育現場の環境整備について

## 学校再整備について

再整備向けのグラウンドと体育館の面積について

### Q2. こうした創意・工夫での環境整備の検討は？

⇒ ・既に検討しているとは思いますが、念のための提案です。

## 面積が増やせないなら 提案すべきこと

限られた敷地でも、工夫と設計で「十分な運動量と安全な環境」を実現する



### 提案 1 ゾーニングで安全に分ける



- ✓ 低学年と中高学年・部活動を分離
- ✓ 遊びの目的に応じたエリア設計で、混雑・接触リスクを軽減
- ✓ 休み時間の質を確保し、学年を超えた共存を実現

### 提案 2 屋上を運動空間として活用



- ✓ 屋上に人工芝コートや多目的スペースを整備
- ✓ 雨天時や放課後の運動機会を確保
- ✓ 地上の混雑を緩和し、授業・部活動の両立を支援

### 提案 3 体育館を多機能・複層化



- ✓ メインアリーナ+サブアリーナで同時利用を可能に
- ✓ 武道場・多目的室で観戦や行事を分散
- ✓ 雨天時や行事の集中を解消

### 提案 4 校舎内にプレイスペースを確保



- ✓ 雨天時や暑さ・寒さの厳しい日でも体を動かせる場を確保
- ✓ 学年や活動に応じた柔軟な利用が可能
- ✓ 安全で見守りやすい環境を実現

### 提案 5 「運動量」で環境を評価・改善する



- ✓ 面積だけでなく、実際の運動量を定点評価
- ✓ データに基づいた継続的な環境改善
- ✓ 子どもの健康・学力向上につなぐ

### これらの工夫で実現できること

- すべての学年が安全に、のびのびと体を動かせる
- 休み時間の質が向上し、集中力・学力・体力が高まる
- 学年を超えた交流が生まれ、社会性・協調性が育つ
- 持続可能で柔軟な学校空間として、将来の変化にも対応



大切なのは「面積の広さ」ではなく、子どもたちが **毎日・十分に・安全に** 体を動かせる環境づくりです。

世界の基準  
(WHO)



5～17歳は、**毎日合計60分以上**の中高強度の身体活動が推奨。  
※学校での確保が不可欠



限られた敷地でも、**創意工夫で**  
**子どもたちの未来を支える学校**を実現しましょう。



是非とも  
子どもたちが  
十分に・安全に  
運動できる環境を  
創って下さい!!



# 学校教育現場の環境整備について

## 給食費無償化における対応補助制度導入について

令和8年4月～葉山町立小中学校において

国の交付金を活用して学校給食費が全額無償化に!!

- 小学生保護者負担分：給食費負担軽減交付金
- 中学生保護者負担分：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

- 小学生：月額4,400円 ⇒ 0円
- 中学生：月額5,600円 ⇒ 0円



無償化になるのは  
嬉しい事だけど…  
いつ迄この制度は  
続くの？

### 【学校給食費負担軽減交付金とは…】

- 子育て世帯の経済的負担軽減を目的として、公立小学校の給食費負担軽減を全国で開始。

### 【財源の流れと仕組み】

- 補助基準額：5,200円（2,600円が給食費負担軽減交付金で、残り半分は地方交付税で措置。在籍児童数(非喫食者を含む)に基づいて積算。



非喫食者への支給判断は、学校設置者である市町村が行う



今回の中学校給食費の無償化は、令和8年4月～令和9年3月までの  
時限的な措置…。

【葉山町立中学校の給食費を無償化した場合の1年間の費用負担】

中学校給食費  
@5,600円

×

中学生徒数  
約850人

=

年間（11ヵ月）  
52,360,000円

※生徒数は「葉山町公共施設等将来構想 学校施設」より

## Q1. 令和9年4月以降の中学校給食費については？

⇒ 物価高騰対応などの地方創生臨時交付金がいっまで続くのか？  
保証も額も不透明の中での町の考えは？



## ● 結果…給食費無償化で生まれる新たな格差

### 給食を利用している児童

学校給食を利用できる子どもたち



給食費無償化の対象

年間 約6万円 の支援  
(町負担)

負担ゼロ



同じ葉山町の子どもなのに  
支援に差が生じているのでは？

### 給食を利用できない児童

アレルギー・宗教・不登校  
フリースクール等



給食費無償化の対象外

昼食費は自己負担が継続  
(年間約6万円の負担)

恩恵を受けられない

## Q2. この状況を教育員会はどのように認識しているか？

# 学校教育現場の環境整備について

## 給食費無償化における対応補助制度導入について

全国では既に対応が始まっています!!

東京都、千葉県を中心に  
「給食費補助」から  
「子どもの食への支援」へと  
進化しています!!



【東京都：杉並区／文京区／西東京市 他】  
【戸田市】【富津市】宮崎市】【高槻市】etc...

### 【先進事例】不登校・長期欠席も含む給付制度

| 自治体名 | 制度名称        | 対象となる主な要件・特徴                                  | 支給額（月額目安）     |
|------|-------------|-----------------------------------------------|---------------|
| 杉並区  | 給食費相当給付金    | 不登校・長期欠席 月に1度も給食提供を受けない児童生徒。国立・私立校通学者も対象。     | 約6,000円       |
| 戸田市  | 学校給食等費用助成金  | 不登校・フリースクール 不登校で家庭や外で食事をする生徒。私立・特別支援学校通学者も含む。 | 給食費相当額        |
| 文京区  | 給食費代替補助事業   | 長期欠席・不登校 ひと月を通して一度も給食提供を受けない子。アレルギーも含む。       | 給食費相当額        |
| 西東京市 | 食物アレルギー等補助金 | アレルギー・宗教 長期欠席 弁当持参者に加え、長期欠席等の事情で喫食できない保護者も対象。 | 約5,000～6,300円 |

### 【葉山町で試算すると】



児童生徒数(小中学校)  
約2,495人



\* R7年度不登校児童生徒数  
小学校39人+中学校71人 = 110人

\* フリースクール利用者数  
R8当初予算より = 40人程度



\* 重度アレルギー／完全弁当持参等  
約30～40人と想定



対象となる児童生徒数  
70～100人程度



年間事業費（試算）  
420～600万円  
※1人当たり6万円で試算



### Q3. この試算の考え方と費用については？

- ⇒ 対象者数の仮定の妥当性
- ⇒ 実際の所の概算費用の評価

### Q4. こうした支援策の導入については？

- ⇒ 新たな施策としての導入の可能性は？



600万円は、  
町の年間予算額の  
0.024%

これこそが  
誰一人取りこぼさない  
子どもまん中  
支援では？

# 学校教育現場の環境整備について

## 給食費無償化における対応補助制度導入について

### 制度設計における課題点

|               |                                          |
|---------------|------------------------------------------|
| 対象の線引き        | 自己都合の欠席と、アレルギーや不登校などの「やむを得ない事情」をどう区別するか。 |
| 喫食実態の把握       | 1ヵ月の未喫食の確認方法や、弁当持参日数の正確なカウントなどの事務負担。     |
| 財源の確保         | 給食費無償化本体の予算に加え、還付・補助用の予算を別途確保する必要性。      |
| フリースクール等の扱い基準 | 自治体が認定するフリースクールに通う場合のみ対象とするか、家庭学習も含むか。   |

### 具体的な制度設計

|        |                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------|
| 補助対象者  | 町内在住の小中学生で、アレルギー、不登校、その他やむを得ない事情により、1ヵ月を通じて一度も給食の提供を受けていない者の保護者。 |
| 補助金額   | 当該月の給食費相当額（小学校：約4,400円／中学校：約5,600円）                              |
| 確認方法   | 学校の喫食実績データと連動。保護者からの簡素な申請に基づき、半年ごとにまとめて還付。                       |
| 事務負担軽減 | 一度も食べていない」月を対象とすることで、日単位の計算を排除。事務の簡素化を図る。                        |

### 先進自治体例

杉並区は、**完全不登校にも対応**していて、「給食事業」の枠を超え、住民サービスとしての**公平性を追求**しています。また、私立・国立校もカバーしています。



給食費無償化は  
「**学校給食の無償化**」ではなく  
「**子育て支援**」だと思います。

だからこそ、学校に通う子供だけでなく、  
学校以外で学ぶ子どもも等しく支える  
“視点”が必要です。

「是非、葉山モデルの構築を!!」



### 1. 教育サービスの公平性

「給食費無償化」は福祉施策。全児童生徒が対象である以上、事情により提供を受けられない者へは代替手段（金銭補填）を講じるのが法の平等に叶う。



### 2. 不登校支援の強化

不登校児はフリースクール費用等で家計が圧迫されている。給食費相当額の還付は、町が掲げる「不登校支援」の具体的かつ実効性のある施策となる。



### 3. 子育て支援の「葉山モデル」

「学校内に限定しない支援」を打ち出すことで、多様な個性を尊重する葉山町の教育姿勢を全国にアピールし、定住意欲を高める。



# 学校教育現場の環境整備について

## フリースクール補助事業の申請状況について



The screenshot shows the Yamashita City website with the following content:

- 不登校によるフリースクール等利用の小・中児童生徒保護者への補助金**
- 葉山町では、葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助金交付要綱に基づき、葉山町の認定施設（フリースクール等）に通う、葉山町立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、令和8年4月より利用料等の補助を実施します。
- 1. 施設の方は、「フリースクール等を運営する事業者の皆様へ（施設認定等のご案内）」をご参照ください。(PDFファイル: 126.4KB)
- 2. 小・中学校の児童・生徒の保護者の方は、「保護者向け（ご案内）」をご覧ください(PDFファイル: 168.6KB)
- 3. 葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助金交付要綱 (PDFファイル: 529.6KB)
- 【対象者】**
- 次の1から6の全てに当てはまる方を対象とします。
- (注釈) オンラインのみの学校（コース）は、認定施設の対象になりません。
- 1. 葉山町立小・中学校に在籍する児童（小学生）・生徒（中学生）の保護者
- 2. 在籍する学校（以下「在籍学校」という。）に登校が困難な児童（小学生）・生徒（中学生）の保護者
- 3. 葉山町が認定したフリースクール等の施設（以下「認定施設」という。）に在籍する児童（小学生）・生徒（中学生）の保護者
- 4. 児童（小学生）・生徒（中学生）の様子等に関する情報について、在籍する葉山町立小・中学校又は葉山町が必要に応じて在籍学校や認定施設に申請内容等について情報共有することを承諾する保護者
- 5. 対象経費について別の団体等から補助を受けていない保護者
- 6. 町民税の滞納がない保護者
- 【補助対象経費・補助金額】**
- 児童（小学生）・生徒（中学生）1人あたりの補助金額は、月ごとの利用料等の1/2の額で、上限は15,000円です。

令和8年4月より新制度がスタート!!

無事に制度が始まって何よりです。本当に有難うございました。

県内では、鎌倉市、海老名市、相模原市に次いで4番目。町村レベルでは葉山町が最初？



Q1. 事業がスタートしてから2か月が経過…。現状の申請件数は？

⇒ ・令和8年度当初予算案では、40人の申請見込み。

Q2. 本制度の周知、PR方法は？

⇒ ・学校から保護者への周知は？

Q3. 事業として新たに浮上した課題や問題点はあるか？

⇒ ・申請時のトラブルや制度自体へのクレームなど。



個人でフリースクールを開いている場合は、事業所として認められないらしいと…そこに子どもを通わせている保護者方から連絡をもらいました。教育長にも直接保護者の方が話をしたそうなのですが…云々…。

Q4. 対象となる事業所側の基準の確認

⇒ ・対象はあくまでも法人？更に1年以上の活動実績は必須？

# 学校教育現場の環境整備について

## フリースクール補助事業の申請状況について

分かり易いホームページへの提案!!

### 制度を探すHPから、安心して相談できるHPへ

わかりやすく、やさしく、つながりやすい情報発信で、子どもと保護者を支えます

**Before** 文字が多く、情報が見つけない...

葉山町

くらし・手続き 子育て・教育 福祉・健康 観光・文化 町政情報

#### 葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助金について

葉山町では、フリースクール等を利用する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減し、多様な学びの機会を確保するため、利用料等の一部を補助します。

■ 制度概要  
葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助金交付要綱に基づき、補助金を交付します。

■ 対象者  
葉山町立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、町が認定したフリースクール等を利用している方

■ 補助対象経費・補助額  
フリースクール等の利用料、入学金、教材費等のうち、町が認める経費  
補助額：月額上限〇〇円（詳細は要綱をご確認ください）

■ 申請方法  
必要書類をそろえ、教育委員会へ提出してください。

■ 必要書類・様式

- 葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助金交付要綱（PDF：123KB）
- 交付申請書（様式第1号）（PDF：85KB）
- 利用状況報告書（様式第2号）（PDF：76KB）
- 請求書（様式第3号）（PDF：60KB）
- Q&A（PDF：200KB）

■ 問い合わせ先  
葉山町教育委員会 学校教育課  
〒240-0192 神奈川県川崎市麻生区葉山町堀内2135  
電話：046-876-1111（内線〇〇〇）  
平日 8:30～17:00

見やすく  
わかりやすく  
伝わるHPへ

**After** 見やすく、やさしく、必要な情報にすぐたどり着ける！

葉山町

子育て・教育 くらし・手続き 相談窓口 町政情報 相談する

学校だけが、学びの場ではありません

## 葉山町フリースクール等 利用児童生徒支援補助金

フリースクール等を利用する児童・生徒の保護者を支援し、  
子どもたちの多様な学びを応援します。

制度の概要を見る > 利用までの流れを見る > 相談してみる

**対象となる方**

葉山町立小・中学校に  
在籍する児童・生徒の  
保護者

詳しく見る >

**利用できる施設**

町が認定した  
フリースクール等が  
対象です

詳しく見る >

**補助内容**

利用料等の一部を  
補助します  
（上限あり）

詳しく見る >

**利用までの流れ**

- 1 相談する  
まずはお気軽に  
ご相談ください
- 2 施設を見学・検討  
お子さんに合う  
場所を一緒に探します
- 3 利用を開始  
フリースクール等を  
利用開始
- 4 申請する  
必要書類をそろえて  
申請します
- 5 補助金の交付  
審査後、補助金を  
交付します

まずはお気軽にご相談ください

葉山町教育委員会 学校教育課（教育相談窓口）  
☎ 046-876-1111（内線〇〇〇） 受付時間 平日 8:30～17:00

相談フォーム >（24時間受付）

詳しくはこちら >（町ホームページ）

文字が多くて  
読むのが大変

制度の内容が  
直感的に伝わらない

どこに相談すれば  
いいのか分かりにくい

# 学校教育現場の環境整備について

## フリースクール補助事業の申請状況について

葉山町教育委員会

フリースクール等に通われている児童生徒のご家族の皆様へ

（補助金制度のご案内）

不登校児童（小学生）・生徒（中学生）がそれぞれの特性に合った通いの居場所を確保し、不登校状態を起因とした孤立を防ぐことを目的に、「葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助金」制度を開始します。

補助金額

児童（小学生）・生徒（中学生）  
1人につき、上限  
1万5千円/月

児童（小学生）・生徒（中学生）1人あたりの補助額は、  
利用料等の2分の1の額（その額に100円未満の  
端数が生じたときは、その端数を切り捨てた額）とし、  
1月につき15,000円を上限とします。

対象者

次のすべてに当てはまる方を対象とします。

- （1）葉山町立小・中学校に在籍する児童（小学生）・生徒（中学生）の保護者
- （2）在籍する学校（以下「在籍学校」という。）に登校が困難な児童（小学生）・生徒（中学生）の保護者
- （3）葉山町が認定したフリースクール等の施設（以下「認定施設」という。）に在籍する児童（小学生）・生徒（中学生）の保護者
- （4）児童（小学生）・生徒（中学生）の様子等に関する情報について、在籍する葉山町立小・中学校又は葉山町が必要に応じて在籍学校や認定施設に申請内容等について情報共有することを承諾する保護者
- （5）対象経費について別の団体等から補助を受けていない保護者
- （6）町民税の滞納がない保護者

申請方法・問合せ

町ホームページに掲載の申請書をダウンロードし、教育委員会学校教育課にお申し込みください。申請書類は、町教育委員会学校教育課窓口でも配付しています。現在の認定施設など、詳しくは町ホームページをご覧ください。

問合せ先：葉山町教育委員会学校教育課学務係  
電話 046 (876) 1111 内線 7220、7221

申請の流れ

STEP 1

1 申請書の提出

申請書は、毎年度（4月～3月）申請が必要です。  
【締切日】  
その年度の最初の利用日の翌月末日が締切日です。  
ただし、3月開始の場合は、3月中に申請してください。  
締切日までに申請した場合、補助金開始月は、利用開始月から始まります。

※申請が締切日を越えると、補助金の交付開始月が1月遅れます。

（例1）4月から認定施設に通学している方が、5月末日までに申請した場合→4月通学分から補助金交付します。  
（例2）4月から認定施設に通学している方が6月中に申請した場合→5月通学分から補助金交付します。

【提出物】

- ①葉山町フリースクール等利用児童生徒支援補助申請書（第1号様式）
- ②フリースクール等への通所に関し契約内容が分かるもの
- ③申請する年に町に転入された方は、前年度の市町村民税の納税証明書又は非課税証明書

STEP 2

2 認定

町から「認定通知書」又は「不認定通知書」が届きます。

STEP 3

3 実績報告書等の提出

半年に1度、計2回の提出が必要です。

【提出期間】

（上期）4月1日～9月30日までの利用料  
⇒10月1日～10月31日（休日の場合はその翌日）までに提出  
（下期）10月1日～3月31日までの利用料  
⇒3月1日～4月10日（休日の場合はその翌日）までに提出

【提出物】

- ①実績報告書（第6号様式）
- ②フリースクール等利用確認書兼補助金対象施設経費報告書（第7号様式）  
※2の作成は、認定施設にお願いしてください。

GOAL

4 補助金額の確定、払い込み

3で提出された実績報告書等を精査し、町から「交付決定通知書」が送付され、指定口座に補助金額が振り込まれます。

分かり易い案内チラシへの提案!!

フリースクール等に通われているご家族の皆様へ  
（補助金制度のご案内）

## お子さんの「自分らしい学び」を 葉山町が応援します

学校に行きづらくても大丈夫。

お子さん一人ひとりの特性に合った居場所や学びの場を選ぶよう、  
葉山町ではフリースクール等の利用料を補助します。

補助額

児童（小学生）・生徒（中学生）  
1人につき、上限

15,000円/月

利用料の1/2を補助します  
（100円未満切り捨て）

対象となる方

- ✓ 葉山町立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者
- ✓ 在籍学校に登校が困難なお子さんの保護者
- ✓ 町が認定したフリースクール等を利用していること
- ✓ 町民税の滞納がないこと
- ✓ 他の団体等から同じ経費の補助を受けていないこと
- ✓ 学校や認定施設と必要に応じて情報共有に同意いただけること

葉山町の認定  
フリースクール等は  
ホームページを  
ご覧ください

申請から補助金交付までの流れ（かんたん4ステップ）

01

申請書の提出

年度ごとに申請が必要です。  
締切日までに申請すると、  
利用開始月から補助対象  
となります。

提出先  
教育委員会学校教育課

02

認定

町から「認定通知書」又は  
「不認定通知書」が  
届きます。

03

実績報告書等の提出

半年に1度、計2回の  
提出が必要です。  
● 上期（4月～9月分）  
10月に提出  
● 下期（10月～3月分）  
3～4月に提出

04

補助金額の確定・払い込み

提出内容を審査し、町から  
「交付決定通知書」を送付。  
ご指定の口座へ補助金を  
振り込みます。

申請時に必要なもの

- ①申請書（第1号様式）  
※町ホームページからダウンロード  
または学校教育課窓口で配付
- ②フリースクール等への通所に関し  
契約内容がわかるもの
- ③申請する年に町に転入された方は、  
前年度の市町村民税の納税証明書  
または非課税証明書

提出期間の目安

上期（4/1～9/30の利用料）  
提出期間 10/1～10/31  
（休日の場合はその翌日まで）  
下期（10/1～3/31の利用料）  
提出期間 3/1～4/10  
（休日の場合はその翌日まで）

まずはお気軽にご相談ください

学校に行きづらいこと、フリースクールのこと、  
制度のことなど、どんなことでもご相談ください。  
お子さんとご家庭に寄り添い、サポートします。

問合せ先

葉山町教育委員会 学校教育課 学務係  
☎ 046-876-1111（内線 7220・7221）

詳しくは町ホームページへ  
（認定施設一覧・申請書ダウンロードなど）



葉山町教育委員会

# 住み続けたい町にするための施策について

## 子どもまん中の町にするための今後について

### 子どもまん中に対応した機構改革について

〔R6(2024)第1回定例会〕

〔R6(2024)第3～4回定例会〕

**学校教育環境の整備・方針について**  
子どもに特化した新たな部・課(組織)の創設について

① 自治体事例集

② 子どもの政策に関する相談体制の工夫

③ 子どもの政策に関する相談体制の工夫

④ 子どもの政策に関する相談体制の工夫

**学校教育環境の改善について**  
児童生徒の相談窓口と子どもまん中の機構改革について

① 子どもの政策に関する相談体制の工夫

② 子どもの政策に関する相談体制の工夫

③ 子どもの政策に関する相談体制の工夫

④ 子どもの政策に関する相談体制の工夫

〔R7(2025)第4回定例会〕

**庁舎内の環境整備について**  
機構改革の進捗について

これまでのリマインド…「子どもまん中の機構改革」についてを提案

学校教育環境の整備・方針について

児童生徒の相談窓口と子どもまん中の機構改革について

子どもまん中の機構改革

子どもまん中の機構改革

子どもまん中の機構改革

町長：従来の縦割り行政から、横のつながりをしっかりと持てる形を目指していく中に、子供をテーマにその先進性を目標とする。

任期中に何とか実現させたい…

庁舎全体として機構改革の協議へ…

政策財政部長：機構改革自体が10年前になり、以降、社会情勢の激変や対応すべきDX化など総合的に見ながら、役職別での意見集約などしながら調査・研究していく。

Q1. 庁舎全体としての機構改革の進捗状況は？  
⇒ ・進捗度合いと、今後のスケジュール（議会への報告）の確認

# 住み続けたい町にするための施策について

## 子どもまん中の町にするための今後について

～ 子どもまん中に対応した機構改革について ～

### 私からの提案

## 葉山町を「子どもまん中の町」へ 機構改革で実現する仕組みづくり！

組織の再編は手段。目的は、子どもと家庭への切れ目ない支援を届けること。誰一人取り残さない、未来につながる葉山町へ

### 現状と課題

- 人口減少・少子高齢化の進行  
将来の財政・行政需要の増大
- 財政の厳しさ  
約70億円の収支不足が見込まれる
- 子どもや家庭を取り巻く課題の複雑化  
不登校・特別支援・ヤングケアラー・虐待・貧困などが増加
- デジタル化・脱炭素など新たな行政需要  
DX推進や環境対応が求められる

今の組織のままでは、将来にわたり  
町民サービスの維持が困難

### 機構改革の基本方針（6ポイント）

- スリムで効果的、  
効率的な組織
- 町民や来庁者に  
分かりやすい組織
- すべての職員が協力し、  
高い成果を出す組織
- 横軸と縦軸の連携、  
行動的かつ柔軟な組織
- 新たな行政課題・町民ニーズに  
対応できる協働・連携の組織
- デジタル技術を活用した  
業務効率化が可能な組織

### 提案：子どもと家庭を切れ目なく支える「葉山町版 こども家庭総合支援体制」の構築

妊娠期から18歳までを一気通貫で支え、子ども一人ひとりの育ちと学びをサポート

#### ① 教育部への移管・連携強化

子ども育成課を教育部へ移管し、  
幼保小の連携・インクルーシブ教育・  
子どもの権利に関する取組みを強化。



#### ② 子ども総合相談窓口の設置

どこに相談すればよいかわからないを解消。  
ワンストップで、支援のつなぎと伴走を実現。

不登校 特別支援 ヤングケアラー  
虐待・貧困 発達支援 保育・教育の悩み など

子ども総合相談窓口  
ワンストップ相談・支援

#### ③ 子育て王国フロアの実現

保健・子育て・教育の拠点機能を  
ワンフロアに集約し、手続き・相談・  
交流が一か所で完結する場を整備。



#### つなぐ・支える連携のイメージ

保健センター  
(母子保健)

福祉部  
(児童福祉・生活支援)

子育て支援センター  
(保育園・幼稚園・学校)

教育部  
(保育・学校教育)

地域・NPO・民間団体

医療機関・専門機関

### 今後の進め方

- ① 庁内での丁寧な検討・調整
- ② 議会への段階的な情報共有
- ③ 町民への分かりやすい説明と意見募集
- ④ 令和9年4月の新体制スタートへ

### 私の思い

組織を変えることは、手段です。  
子どもや保護者が「葉山に相談して良かった」  
と感じられる仕組みをつくるのが、  
私たちのゴールです。  
未来を担う子どもたちの笑顔のために、  
今、できる改革を着実に進めていきましょう。



### 期待される効果（アウトカム）

- ✓ 子どもと家庭の「安心感」が高まる
- ✓ 相談のしやすさ・つながりやすさが向上する
- ✓ 早期発見・早期支援が進む
- ✓ 関係機関の連携が強化される
- ✓ 職員の専門性が高まり、支援の質が向上する
- ✓ 限られた人員・財源で、  
より大きな成果を生む



### 改革の目指す姿

すべての子どもが自分らしく育ち、  
安心して暮らせる葉山町へ  
～学びがつながり、未来がひろがるまち～



# 住み続けたい町にするための施策について

## 子育て支援拠点や児童館の今後について

令和8年(2026年)2月定例会からのリマインド



予想外の  
発言で  
嬉しい誤算  
でした。

### 住み続けたい町にするための施策について

#### 子育て支援拠点や児童館の今後について

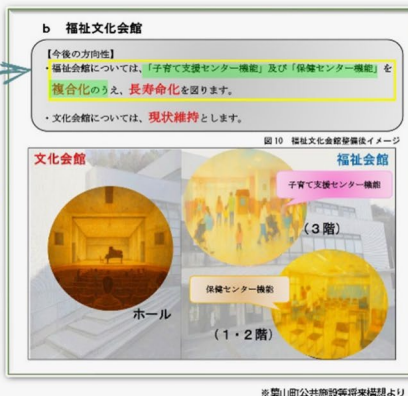
##### 子育て支援拠点のこれから

昨年末までは、子育て支援拠点に関する町の方針は「葉山町こども計画」に記載されている内容だけでなく、**公共施設の再編計画を視野に**いれて、**複合化を図っていく**という話だったと理解していました。

予算特別委員会での「町長・教育長質問」の際、福祉文化会館の複合化は具体的なスケジュール等の設定が出来ていないので…  
**子育て支援拠点については、「葉山町こども計画」通り検討を進めていく**との意向が示されました。

令和8年3月4日の「教育民生常任委員会」では、『葉山町こども計画』に準じて、長柄地区に1か所、子育て拠点設置の検討を求める陳情審査があり…。※この陳情には560名もの署名が添付されています。  
部長の方から、町長の発言と同様に？それ以上に、**子育て拠点は民間のチャラを借りる事も視野に、また、学童や児童館のあり方なども複合的に検討を進めて行く**との答弁がありました。

Q1. **今一度、長柄地区での子育て拠点の検討状況や構想案、学童や児童館の今後として考えている事を教えて？**  
⇒ 背景に何があったのかは、この際聞くのは止めて…  
とは言え、お願いしたいのは、構想案があるのであれば、計画期間内とは言わずにスピーディーに進めてほしい!!



11

### 【福祉部長】

「こども計画」通り、期間中に子育て支援拠点をつくる方向で検討していく。  
**令和8年度の上半期には大筋の方向性を示し、令和10年度にはスタートしたい**と考えているが、時期に関しては前倒し出来るように鋭意努力していく。

### 住み続けたい町にするための施策について

#### 子育て支援拠点や児童館の今後について

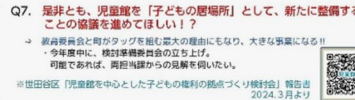
R7年度9月定例会からのリマインド

#### 義務教育・学校教育の環境整備について

##### 児童館の有効活用について

東根に向けたステップの具体例  
①試行的な実施  
・児童館で月間「学びと民衆の日」を設けてみる。  
・NPOやボランティア団体と連携して小規模にスタート。  
②教育委員会との連携  
・出資型・共同型など、学校との連携共有の仕組みを検討。  
・学校と対立しない位置づけと「多様な学びの場」として受け止められる環境づくりの推進。

##### ◆市内で連携出来る子どもサポート団体…



【福祉部長】の答弁  
① 児童館は元々18歳まで自由に利用できる場所  
・午前：主に0～3歳児の「遊びの広場」  
・午後：学童利用または一般利用  
・7施設あり、時間帯によっては空きもある  
② 不登校児童生徒向けの特別な取組は現状ない  
・学校時間に来て、下手に話しかける事もなく指導員は温かく見守る対応をしている  
③ 今後の可能性としては検討余地あり  
・単なる居場所ではなく、学びと運動する形の取組ができる可能性はある

【教育部長】の答弁  
① 方向性としては前向きに検討したい  
・児童館など公共施設を活用する可能性はある  
② ただし「学童的な学び」とは区別が必要  
・フリースクールやオルタナティブスクールは違うものと認識している  
③ “学びにつながるきっかけの場”として有効  
・公共施設を活用し、人とつながる場としての役割は有意義  
・学びの捉え方次第で連携の形を考えていきたい

Q2. **改めての協議や検討は？**  
⇒ 是非とも、福祉部と教育委員会とが連携し今後あり方を検討してほしい。

12

### 【福祉部長】

地域のニーズに合っているか十分関係者と協議、調整をしながら、児童館のさらなる活用を検討していく。その中には、子供の居場所、また学びと連携した動きを取れるかが大きな課題だ。その辺も含めて検討していく。

## Q1. 長柄地区での子育て拠点及び児童館の活用方法などの検討、進捗状況は？

- ⇒
- ・長柄地区での子育て拠点の大筋はどんなイメージ？
  - ・児童館の利活用に関する調査・研究状況は？
  - ・全体的なスケジュール感は？

# 住み続けたい町にするための施策について

## 行政情報のアウトプット強化について

### これまでの情報発信系のリマインド

#### 【H30年(2018年)～R7年(2025年)まで】

- ・葉山町のホームページの改善策やリニューアルを提案 ⇒ 計7回
- ・町の魅力や事業のPR方法の改善やアイデア提案 ⇒ 計6回
- ・その他情報発信系の提案 ⇒ 計12回

今まで、HPの  
“リニューアル”を  
提案してきたけど…  
実はそこでは  
無いのかも？

#### 住み続けたい町にするための施策について

##### 町ホームページの改善について

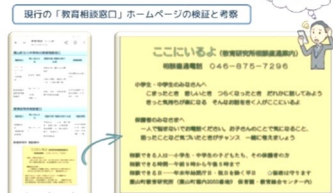
これまでのリマインド 令和6年度(2024年)第2回定例会では…



根本的な  
発想の転換が必要？  
まずは、基本的な  
スタンスを決めて  
それに対して提案？

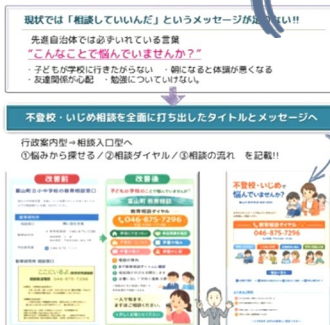
#### 学校教育現場の環境整備について

##### 相談・連携・対応までのあり方について



- タップ数4回でリーチ
- ①【子育て・教育】②【入居・入学・教育相談(いじめ、不登校相談を含む)】③【福祉】④【暮らし相談(いじめ、不登校を含む)】

【ページの特性を分析】  
・典型的な行政情報ページで親しみやすい。  
・いじめ、不登校や福祉関連で感情的なスタンスには見えにくい。  
・ビジュアル的にも文字が見やすく、読みやすい。



Q5. ホームページの見せ方の再編をすべきでは？  
→ もうホームページにあるから、プリント配布しているから、という時代ではない。

### これからの行政に求められること

## 制度を伝える行政から、**孤立を防ぐ**行政へ

町民が探さなくても情報が届く町へ

#### これまでの行政広報

情報を載せる  
住民が探す

どこに  
載っているの？

- ・情報が多すぎて、どこに繋がればいいのかわからない
- ・制度や支援があることを知らない
- ・必要な人に情報が届かず、孤立してしまう

#### これからの行政広報

情報を届ける  
行政が届ける

- ・必要な人に、必要な情報が、必要なタイミングで届く
- ・探さなくても、支援につながるができる
- ・誰一人取り残さない、安心して暮らせるまちへ

町民が  
困っているのは

制度が無いことでも、支援が無いことでもなく、

## 「知らないこと」

知らなかったから  
利用できなかった…

どうすればつながれるの？  
誰に相談したらいいの？

実際に、こんな声が聞こえてきます

どこに連絡したら  
いいのかわからない



相談先がわからない

情報がバラバラで  
探すのが大変…



情報がわかりにくい

必要な手続きが  
見つけられず、  
手遅れに…



気づいた時には  
間に合わない

自分に関係ある  
情報だけを知りたい



自分に必要な情報に  
たどり着けない

情報が届かず、  
取り残された  
気がする…



孤立感・不安を感じる

### 目指す姿

“情報を届ける仕組み”は、**支援そのもの**

誰一人取り残さないまちへ。

葉山町から、つながりと安心が届く仕組みをつくります。



プッシュ型で  
情報が届く

いつでも相談  
できる窓口へ

わかりやすく  
たどり着ける

支援がつながり  
孤立を防ぐ

# 住み続けたい町にするための施策について

## 行政情報のアウトプット強化について

### 提案① 「機構改革として」…

#### 「政策課」から独立或いは分室的な 「情報デザイン室」へ

情報を“届ける”仕組みをつくる専門チームを設置

これからの行政広報は、紙やホームページだけでは不十分です。  
町民一人ひとりに、必要な情報を、最適なタイミングで届けるための  
「情報デザイン室（仮称）」を設置します。



#### 役割

情報を「設計し、届け、伝わったかを改善する」チーム



#### 課題の発見・情報整理

町民の困りごとや  
ニーズを把握し、  
必要な情報を整理



#### 情報の設計・企画

誰に、何を、いつ、  
どの手段で届けるかを  
設計・企画



#### 多様な手段で発信

HP/LINE/SNS/動画/  
広報紙/メールなどを  
横断的に活用



#### 効果測定・改善

届いたかどうかを分析し、  
より届く方法に  
改善し続ける

#### これまで（掲載型）



各課で情報作成・  
HPへ掲載



町民が自分で探す



必要な人に  
届かないことがある

#### これから（アウトプット型）



情報デザイン室が  
一元的に設計・発信



必要な人に  
最適な手段で届く



安心につながり、  
孤立を防ぐ

#### 期待される効果



必要な人に届く  
支援が必要な人ほど、  
情報が届く仕組みに



相談しやすい町に  
困ったときに、  
すぐ相談できる安心感



業務の効率化  
問合せの減少や  
重複業務の削減に



町の魅力を発信  
葉山らしい魅力や  
取組を効果的に発信

情報を“載せる”行政から、“届ける”行政へ。  
葉山町を、誰ひとり取り残さない情報が届くまちへ。



### 提案②

#### 葉山町公式LINEの高度化

必要な情報を、必要な人へ。探さなくても届く仕組みへ。

町民一人ひとりのライフステージや関心に合わせて、必要な情報を  
自動でお届けする「パーソナル行政広報」へ進化させます。



#### ① 登録時に「関心カテゴリ」を選択 → 必要な情報だけが届く

友だち登録後、  
関心のある分野を選択

- ☒ 子育て
- ☒ 教育
- ☒ 高齢者
- ☒ 防災
- ☒ 環境
- ☒ イベント
- ☒ その他



選択したカテゴリに応じて、  
あなたに必要な情報だけを自動で配信！



お知らせ



制度・手続き



イベント



相談窓口

情報の“届きすぎ”や“見逃し”を防ぎ、  
本当に必要な情報が、ちょうどよいタイミングで届きます。

#### 配信イメージ

- 葉山町  
友だち登録  
ありがとうございます！
- 【子育て】3歳児健診の  
お知らせが届きました 9:00
- 【教育】就学前相談の  
ご案内はこちら 12:00
- 【防災】台風に向けた  
避難情報の確認を 18:00

#### ② ライフステージに合わせた情報の流れ（例：子育て世帯）



妊娠・出産

- 母子手帳の案内
- 妊婦健診の助成
- 出産応援ギフト など



0～2歳

- 乳幼児健診
- 予防接種
- 子育て支援センター など



3～5歳

- 幼稚園・保育園情報
- 就学前相談
- 子育て支援制度 など



小学生

- 入学説明会
- 放課後児童クラブ
- 給食費補助 など



中学生以降

- 進学情報
- 部活動支援
- 相談窓口情報 など

ライフステージの変化に合わせて、自動で情報がアップデートされます。

#### ③ 導入のメリット



探さなくても情報が届くため、  
支援が必要な人に確実に届く



孤立を防ぎ、安心感のある  
まちづくりにつながる



広報紙やHPよりも低コストで、  
高いリーチ効果が期待できる



配信結果の分析により、  
より効果的な情報発信が可能に



ここは既に  
ある町公式  
LINEをブラッ  
シュアップ!!



#### 目標 変

必要な人に、必要な情報が、  
必要なタイミングで届く町へ。

「探す広報」から「届く広報」へ。

葉山町は、誰ひとり取り残さない情報のまちを目指します。



# 住み続けたい町にするための施策について

## 行政情報のアウトプット強化について

### 提案③

## 市民の声を“見える化” 次の施策につなげる仕組みへ

アンケート・意見投稿を一元管理し、町政に活かすサイクルを構築

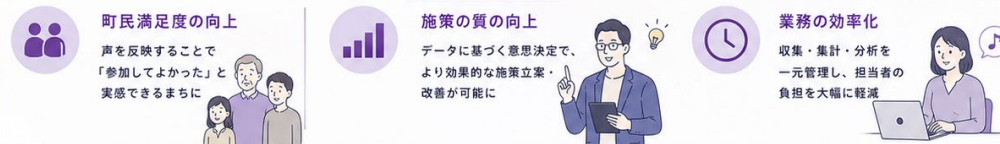
町民の声を収集・分析し、町政の改善や新たな施策に活かすことで、「声が届いている」と実感できるまちづくりを実現します。



### 取組みの流れ



### 導入のメリット



### 導入ステップ(例)



町民の声が、明日の葉山をつくる力に。

一人ひとりの想いを大切に、  
みんなでつくる、よりよい葉山町へ。

### 提案④

## 60秒ショート動画行政

短い動画で、伝わる・わかる・行動につながる行政へ

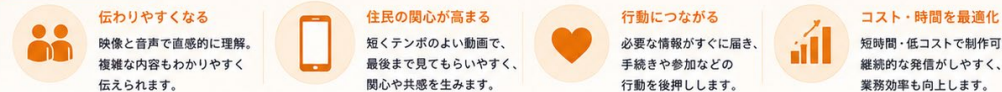
町民にとって「今、知りたい情報」を、60秒以内の動画でわかりやすく発信。  
スマートフォンで手軽に視聴でき、理解が深まり、行動につながります。  
まちの魅力や取組みも、より多くの人に伝わる新しい情報発信の形をつくります。



### 取組みの流れ



### 導入のメリット



### 活用シーン(例)



たった60秒で、町民との距離がぐっと近くなる。

わかりやすい動画で、必要な情報を、必要な人に、必要なタイミングで。  
葉山町の魅力と価値を、もっと伝えるカタチへ。

# 住み続けたい町にするための施策について

## 行政情報のアウトプット強化について

The screenshot displays the Hayama Town website with a navigation bar at the top containing links for '暮らし・手続き' (Living/Procedures), '子育て・教育' (Child-rearing/Education), '健康・福祉' (Health/Welfare), '防災・安全' (Disaster Prevention/Safety), '観光・文化・スポーツ' (Tourism/Culture/Sports), and '町政情報' (Municipal Information). A search bar is located on the right. The main banner features a scenic view of the town and the text: '困ったときに、すぐそばに。あなたに寄り添う、葉山町のコンシェルジュ' (When you're in trouble, we're right next to you. Hayama Town's Concierge). Below this, it states: '必要な情報を、必要な人に、必要なタイミングで。一人ひとりの暮らしに寄り添い、「相談できる町」を、みんなでつくります。' (We provide necessary information to the right people at the right time. We support everyone's life and create a 'town you can consult with' together). A search bar with the text 'よく探されているキーワード' (Keywords often searched) is present, with buttons for 'ごみの出し方' (Waste disposal), '引っ越し' (Moving), '子育て支援' (Child-rearing support), '防災情報' (Disaster information), and 'マイナンバー' (My Number). A central section titled 'まずは相談してみませんか？「相談できる町」を見せる・つなげる' (Would you like to consult first? Show/Connect 'a town you can consult with') includes an illustration of a family and text: 'あなたに合った情報や支援を、専門の窓口や相談員がサポートします。' (Information and support tailored to you, supported by specialized windows and consultants). Below this are icons for '子育てのこと' (Child-rearing), '介護・高齢者のこと' (Nursing/Elderly), '健康のこと' (Health), 'お金・生活のこと' (Money/Life), and 'しごとのこと' (Work). A button '相談窓口一覧を見る' (View list of consultation windows) is at the bottom. A section titled '重要なお知らせ' (Important Notice) mentions '新型コロナウイルスワクチン接種に関するお知らせ' (Notice regarding COVID-19 vaccination) dated May 20, 2024. Below this are icons for '引っ越し・住まい' (Moving/Housing), '妊娠・出産・子育て' (Pregnancy/Childbirth/Child-rearing), '高齢者の方へ' (For the elderly), '就職・退職' (Job/Retirement), '病気・けが・医療' (Illness/Injury/Medical), '防災・災害' (Disaster Prevention/Disaster), and 'オンラインで手続き' (Online procedures). A '新着情報' (New Information) section lists updates from May 15 to May 20. An 'イベント・募集' (Events/Recruitment) section lists events for June 8, 15, and 22. A 'データで見る葉山町' (View Hayama Town with Data) section shows population (33,503) and waste collection status. The footer includes a message: '葉山町は、みんなの声を力に、よりよいまちづくりを進めています。' (Hayama Town is advancing better town creation with everyone's voice as strength) and a link 'ご意見・ご提案をお寄せください' (We welcome your opinions and proposals).

葉山町の広報紙は全国的にも高い評価を受けています。それはそれとして素晴らしい事ですし、この先も必要な“情報発信ツール”だと思っています。

しかし、この先求められるのは「良い広報紙を作ること」以上に、「必要な人へ必要な情報を届けること」です。

情報を探せる人だけが行政サービスに辿り着ける社会ではなく、支援が必要な人ほど情報が届く仕組みへの転換が必要だと感じています。

Q1.葉山町が『制度を探す町』から『安心して相談できる町』へ進化すべき時期に来ていると考えますが？



# 住み続けたい町にするための施策について

## 地域防災力の強化について

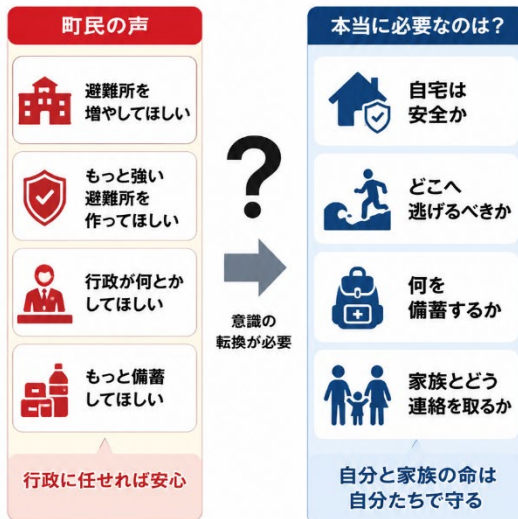
Q1. まずは「防災認識」を変えることについての考えは？

⇒ ・行政依存型から特に自助を中心とした思考ヘシフトさせるという案

最近よく思う事…

### 「防災対策」より先に 「防災認識」を変える

～ 行政依存型の発想から、自助・共助型の発想へ ～



防災施設を増やすことより  
災害時に正しい判断ができる  
町民を増やすこと

町民との  
意見交換の中で  
災害時の行政依存  
の強さに危機感  
を感じます。



## 1 葉山町は多様な地域特性を持つまち

| 海沿いエリア<br>(森戸・堀内・一色など)                                        | 山沿いエリア<br>(長柄・上山口・下山口など)                                      | 住宅密集エリア<br>(一色・下山口など)                                             | 河川・低地エリア<br>(一部の低地・水路周辺)                                          | 高齢者が多いエリア<br>(町内全域に点在)                                                |
|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
|                                                               |                                                               |                                                                   |                                                                   |                                                                       |
| 主なリスク<br>津波・高潮                                                | 主なリスク<br>土砂災害・がけ崩れ                                            | 主なリスク<br>火災延焼・建物倒壊                                                | 主なリスク<br>浸水・内水氾濫                                                  | 主なリスク<br>避難行動の遅れ・孤立                                                   |
| 必要な備えの例<br>✓ 高台避難の確認<br>✓ 避難経路の複数確保<br>✓ 夜間避難の備え<br>✓ 津波情報の確認 | 必要な備えの例<br>✓ 雨量・気象情報の確認<br>✓ 早めの避難判断<br>✓ 危険箇所の把握<br>✓ 避難先の確保 | 必要な備えの例<br>✓ 初期消火の備え<br>✓ 近隣との声かけ・連携<br>✓ ブロック塀などの点検<br>✓ 避難経路の確認 | 必要な備えの例<br>✓ ハザードマップ確認<br>✓ 大雨時の移動判断<br>✓ 排水路・側溝の確認<br>✓ 貴重品の高所保管 | 必要な備えの例<br>✓ 安否確認の仕組みづくり<br>✓ 見守り・声かけ<br>✓ 近所とのつながり強化<br>✓ 支援が必要な人の把握 |



同じ町内でも、必要な備えは大きく異なります。  
「自分の地域の特性」を知ることが、命を守る第一歩です。

### 日頃から備えるべきこと（共通）

|                            |                              |                            |                           |                                |                          |
|----------------------------|------------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------|
| ハザードマップの確認<br>自宅や地域のリスクを把握 | 非常用持ち出し品の準備<br>最低3日分、できれば7日分 | 家族との話し合い<br>避難先・連絡方法を決めておく | 地域とのつながり<br>近所と声をかけ合える関係を | 情報の入手手段の確保<br>防災行政無線・アプリ・SNSなど | 定期的な訓練・点検<br>訓練・点検で行動を確認 |
|----------------------------|------------------------------|----------------------------|---------------------------|--------------------------------|--------------------------|

# 住み続けたい町にするための施策について

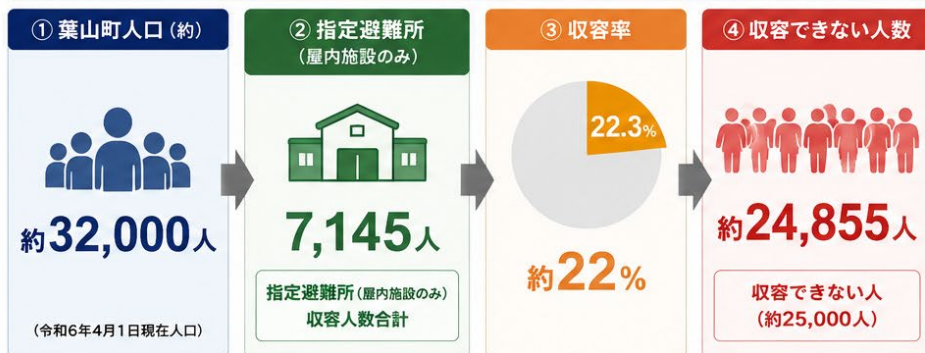
## 地域防災力の強化について

### 行政依存型防災から、自助・共助型防災へ

葉山町の防災は、「避難所へ行く防災」だけでは成立しません。

人口約3万2千人に対し、屋内の指定避難所収容人数は約7,100人、約22%です。

約2万5千人は別の避難行動を前提に考えなければなりません。



| 指定避難所 (屋内施設のみ) 収容人数一覧 |        |               |       |
|-----------------------|--------|---------------|-------|
| 施設                    | 収容人数   | 施設            | 収容人数  |
| 木古庭会館                 | 181    | 葉山小学校 体育館等    | 615   |
| 木古庭児童館                | 185    | 葉山町福祉文化会館     | 1,511 |
| 上山口小学校 体育館等           | 455    | 葉山中学校 体育館等    | 665   |
| 上山口会館                 | 278    | 長柄小学校 体育館等    | 609   |
| 上山口児童館                | 213    | 葉桜会館          | 110   |
| 下山口会館                 | 118    | 葉桜児童館         | 113   |
| 下山口児童館                | 76     | 南郷中学校 体育館等    | 541   |
| 一色小学校 体育館等            | 729    | 県立廻子葉山高校 体育館等 | 746   |
| 合 計                   | 7,145人 |               |       |

出典：葉山町地域防災計画資料編「8-1-1 指定緊急避難場所・指定避難所」

#### 防災の考え方を転換する必要があります

##### これまで 行政依存型防災

- ✓ 避難所に行けば安心
- ✓ 行政が助けてくれる
- ✓ 受け身の防災



自助・共助の力が、命を守る最大の力になります。

##### これから 自助・共助型防災

- ✓ 自宅での備えを充実
- ✓ 地域で助け合う
- ✓ 自分たちで生き延びる



#### 約25,000人は？ 別の避難行動を前提に考える必要があります

##### 在宅避難



自宅の安全確保を行い、  
自宅で生活を継続する

##### 親族・知人宅避難



安全な地域にある  
親族や知人宅に避難する

##### 分散避難



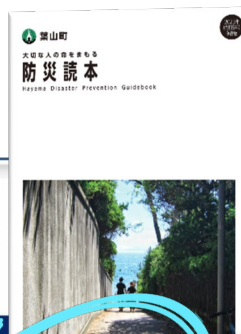
ホテル・旅館、公共施設など  
様々な場所に分散して避難する

##### 車中避難



やむを得ない場合は  
車中で避難生活を送る

⚠ 大規模災害時は、行政による支援 (避難所開設・物資供給・情報提供など) には限界があります。  
「自分の命は自分で守る」「地域で助け合う」ことが、いのちを守る力になります。



防災読本を見ると…  
何となくですが、  
「避難」=「避難所」  
へ向かうのが  
前提にあるのに  
受け取られます。



### さあ、災害に備えよう

1 ハザードマップなどで自宅 (周辺) の状況は確認できていますか？  
本書を読み始める前に、避難が必要かどうか、ハザードマップなどを見て、自宅やその周辺に浸水や土砂災害のおそれがあるかを確認します。各ハザードマップで確認。ハザードマップはハザードマップは町ホームページ、防災安全課窓口で掲載・配布しています。収録



2 避難する場所は決まっていますか？  
避難する場所とその優先順位を決めておきましょう。あわせて、避難先までの経路も考えておきます。自宅が安全が確保できる場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。P.4・P.22～25参照



3 「避難の目安」は決まっていますか？  
避難情報や大雨警報などの気象情報を入力して、どの情報が出されたときに避難を始めるか、自分や家族に合った避難のタイミングを考えましょう。P.4・P.6・P.9・P.11参照

4 避難をするときの持出品リストはチェックしましたか？ (非常用持出品)  
非常用持出品を考えましょう。P.5参照



5 共助の視点から地域に対しての行動を考えよう

近所に避難の呼びかけを行ったり、高齢者や障がい者など災害時に助けが必要な人を支援するなど、自分ができることを考えます。地域の中で話し合っておくことも大切です。P.17～19参照

Q2. 避難所の場所だけでなく、収容人数などの  
限界値を示す事も必要では？

⇒ ・避難所へ誘導することが前提のように見えてしまうと、  
その避難所となる立地条件や設備など、要求がどんどん  
増していく傾向にあるのでは？

# 住み続けたい町にするための施策について

## 地域防災力の強化について

Q3. こうした発信(啓発) も行政として大切な役目では？

⇒ ・勿論、我々議員もその一端は担っていると思っています。

## 防災施設だけでは、**命は守れない。**

葉山町の防災は、考え方を「避難所へ行く防災」から「自宅で生き残る防災」へ。

### 葉山町の現実



### 行政依存型防災 ～避難所へ行く防災～



- × 行政が何とかしてくれる
- × 避難所があれば安心
- × 備えてくれるのを待つ
- × 自分は大丈夫と思いがち

### 自助・共助型防災 ～自宅で生き残る防災～



- ✓ 自ら命を守る行動をとる
- ✓ 日頃から備え、考えておく
- ✓ 家族・地域で助け合う
- ✓ 一人ひとりの行動が地域を守る

### 今日からできること



#### 逃げる

避難場所・避難経路を確認



#### 備える

必要な備蓄・非常持出品を準備



#### つながる

家族・地域で連絡方法を決める



#### 在宅避難を考える

自宅での安全確保の方法を知る

言いづらい事  
だとしても、  
こうした発信は  
勇気を持って  
していく必要がある  
のでは？



最後に命を守るのは、  
**一人ひとりの判断と行動**です。

行政は、情報を届け、支援し、つながりをつくる役割を果たします。

その先にあるのは、町民一人ひとりが自ら命を守る「強く、しなやかな葉山」です。

行政と町民が力を合わせ、誰一人取り残さない防災のまち・葉山をつくりましょう。



# 住み続けたい町にするための施策について

## 地域防災力の強化について

〔お金を掛けずに実現できる防災情報のアウトプット案〕

### 葉山町の防災情報を、もっと届く、もっと分かりやすく。

一人ひとりに最適な情報を、最適な方法で届ける4つの仕組み

#### ① LINEで実現する

町公式LINEで、あなたに必要な情報を自動配信

登録すると  
あなたの地域に  
必要な情報だけを  
自動でお届け！

あなたのお住まいは？

- ☐ 一色
- ☐ 堀内
- ☒ 長柄
- ☐ 下山口
- ☐ 上山口

家族構成は？

- ☐ 単身
- ☐ 高齢者世帯
- ☒ 子育て世帯

登録すると  
あなたの地域に  
必要な情報だけを  
自動でお届け！

長柄地区  
土砂災害注意

森戸地区  
津波避難優先



経代ゼロ



郵送料ゼロ



更新も簡単

#### ② ハザードマップにQRコード

ハザードマップを「読まれる」きっかけに

葉山町ハザードマップ  
避難所マップ

長柄地区の方はこちら  
↓  
長柄専用ページ

堀内地区の方はこちら  
↓  
堀内専用ページ

一色地区の方はこちら  
↓  
一色専用ページ

地区ごとの専用ページで、  
避難所・危険箇所・避難ルート・備えのポイントを確認！  
スマホで簡単アクセス！

#### ③ 固定資産税・住民税通知書と同封

毎年必ず届く通知に、防災情報をプラス

重要

固定資産税  
通知書

住民税  
通知書

あなたの地区の防災情報

あなたの地区：長柄

- 避難所  
長柄小学校  
(徒歩7分)
- 土砂災害警戒区域  
該当  
(がけ地付近にお住まいです)
- 備蓄の目安  
7日分  
(家族構成に応じた目安です)



A4一枚を同封するだけ！  
追加コストほぼゼロで、確実に届く！

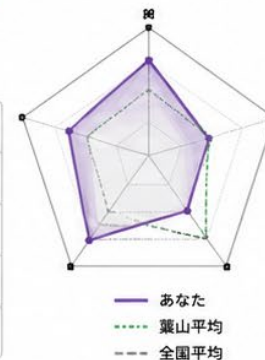
#### ④ 葉山らしい「防災偏差値」

あなたの備えを、楽しく見える化

あなたの防災偏差値

42

|      |   |
|------|---|
| 備蓄   | △ |
| トイレ  | × |
| 安否確認 | △ |
| 避難計画 | ○ |
| 情報収集 | △ |



全国平均・葉山平均と比較できるから、  
改善ポイントがひと目でわかる！  
家族で話し合うきっかけにも！

4つの仕組みの  
ポイント



一人ひとりに  
最適な情報を届ける



地区ごとのリスクや  
避難情報がすぐわかる



コストをかけずに  
効果的に情報発信



防災意識を高め、  
「自分ごと化」を促す

葉山らしいやさしい防災で、  
安心して暮らせるまちへ。

